



理事会特集

「世界に役立つ

ひと粒のからし種から ～三育学院サンタクララ校の始まり～

それは1982年7月7日のことだった。マウンテンビューの日本人教会の一室で教師一人と三名の幼稚園生、小学4年の生徒が一人という小さな学校が始まった。これが今日の三育学院サンタクララ校の始まりである。教師は広島市南竹屋町にある三育学院の校長を務め、長年教鞭をとってきたベテラン教師岩本和子であった。

そのころのサンタクララ・バレーはカントリーリビングに最適な住宅地であり、果樹園が至る所に散在していた。しかし、急速に、ITビジネスのメッカ、シリコンバレーに変わり始めていた。そして70年の後半から80年にかけて日本企業の進出が著しく目立った。

日本企業の駐在員の家庭が直面し、一番気がかりだったことは、子供たちの教育のことだった。数年のアメリカ滞在後、再度日本に帰ったときに、日本の学校へ戻れるように、日本語で補習してくれる学校があるのかと心配した。そして当時この地方からは、バス3台で、約80名の小、中学生たちが、毎週土曜日にサンフランシスコの補習校へ通っていた。

そこでわたしたちは祈り、考えた。その学校計画とは、週日に、現地校終了後の数時間、文部省から無料配布される国語、社会、算数、理科の教科書で勉強する事であり、この方式は、ロスアンゼルス南にあるガーデナの町で既に10年以上にわたり実験済みであったので、このような学校作りに真剣に取り組み始めた。

こうして日本の三育の本部に人材の斡旋を依頼し、教師岩本和子は1982年4月1日付けで、このシリコンバレーの小さな学校へやって来たのであった。

聖書に「からしだね」の話がある。パレスチナの植物の実の中でも、最も小さな一粒の種だが、「ある人によって地に蒔かれると、育てて木となり、空の鳥もその枝に宿るようになる」とキリストは言われた。

私たちの学校も、その小さな始まりから、来年には、25周年を迎えることができる三育学院にまでに成長してきたことを思うと感慨無量である。これからも三育学院という大きく育った学校の木陰で、多くの生徒たちが、教師たちとの充実した学びを通して、世界に役立つ人となって巣立って欲しいものだと思ふのである。

創始者のひとり

岩橋 孝

理事の紹介 (理事長以外は名字のアイウエオ順に紹介します)



長きに渡り理事長を務める
本校の大黒柱

土屋 友満 氏

三育学院サンタクララ校理事長
1953 - 1957 日本のSDA教会で従事
1961 - 2002 Yamaha Peninsula Music
Center 社長
2003 - Silicon Valley Piano 社長



ボランティア精神旺盛な
本校の創立者

顧問 岩橋 孝 氏

三育学院サンタクララ校創立者
(1982年7月7日開校)、元理事長
牧師引退(1994年)にともない理事長辞任、現学校
理事会顧問
過去10年マウンテンビュー市にて小規模の日系ケア
ホームを経営
PTAへお願い **いつでもお気軽に、ご意見、
ご提案などをお聞かせください。**
メールアドレス shalomawahashi@comcast.net



とても優しいファミリードクター

マーク・岩橋 氏

私はここベイエリアに70年代半ばから住んで
おります。妻と男の子二人がおります。現在
クパチーノで全ての年齢を対象にした内科医
をしております。三育学院の保護者の皆様と
先生方、私達理事会との架け橋になればと
理事の仕事に携わっております。学院生活
を通じ、クリスチャンの素晴らしい教えを学んで
いただけたら、とても嬉しいです。



絵を描くことと歴史が
お好きな先生

小谷 仁 氏

学校理事会のセクレタリーをしています。生ま
れは福岡県です。1990年にミシガンにやって
きて、本校には1992年からお世話になってい
ます。現在、家内と二人暮らし、大学で勉強し
ている娘は三育小・中の卒業生です。よろしく
お願いいたします。



とても頼りになる優しい
三育保護者OG

白石 伸子 氏

1985年～1990年三育学院ロスアルトス校(今
のサンホゼ校の前身)事務会計として勤務
現在NECエレクトロニクスアメリカ勤務
趣味は食べる、ガーデニング、ボランティ
ア活動です。